

イベントの開催による、主催者・参加者の会場までの移動、会場における電力使用、紙の使用に伴う排出量のカーボンオフセット

一般社団法人 炭素会計アドバイザー協会

一般社団法人 炭素会計アドバイザー協会

所在地： 愛知県名古屋市中区東横 1-13-3
NHK 名古屋放送センタービル 16F 株式会社ウェストボックス内
代表者： 代表理事 鈴木 修一郎
職員数： 5名
URL: <https://www.caai.or.jp/>

1 事業の概要

一般社団法人 炭素会計アドバイザー協会は、CO2排出量の算定手法普及と企業財務への正確な反映ができる人材の育成を目指し、資格制度の企画・運営、情報提供を行っています。これらを通じて、国際ルールに則った、企業の正確なGHG排出量算定とカーボンニュートラル取組みを支援することを目的として設立された一般社団法人です。

2 環境への取り組み

当協会では、下記のような取り組みを行っております。

- CO2排出量測定手法の普及と企業の排出量の財務反映を促進
- 収益を森林保護などの環境保護団体へ寄付
- 炭素会計領域における最新情報の提供
- J-クレジットを活用したカーボン・オフセットイベントの開催

3 J-クレジット活用手法

当協会は2024年5月に「国際環境 NGO CDP CEO Sherry Madera 氏 来日記念イベント」を開催しました。このイベントでは、当協会初めての試みとなるカーボン・オフセットを実施し、主催者・参加者の会場までの移動、会場における電力使用、紙の使用に伴うCO2排出量全量をオフセットしました。

また、同年11月には「東京事務所開設記念イベント 炭素会計とISSB開示の最新動向」を開催し、同様にカーボン・オフセットの取り組みを行いました。

2件のイベントのカーボン・オフセットには、岐阜県中津川市および三重県宮川上流部で創出された中部地域の森林由来のJ-クレジットを使用しました。

4 取組の感想

イベントでのカーボン・オフセットを通じて、イベント開催によるCO2排出量を把握することができました。また、イベント運営における排出量削減の取り組みを具体化し、実践する機会になるとともに、当協会の環境への取り組みの一つとして対外的にアピールすることができました。

5 制度活用による効果

今回のカーボン・オフセットにより、中部地方で創出された森林由来のJ-クレジットを使用して、イベント開催に伴う排出量全量をオフセットすることが出来ました。

今後、当協会が開催するイベントは、同様のカーボン・オフセットに取り組む予定です。

6 活用事例



J-クレジット活用量 1 tCO₂

岐阜県中津川市 加子母森林組合による間伐事業を用いた温室効果ガス吸収プロジェクト～「美林萬世之不滅」の循環型山づくり

J-クレジット活用量 1 tCO₂

三重県宮川上流部宮川森林組合による持続可能な森林経営促進型プロジェクト よみがえれ森林！！林業活性化に向けて～森の声をかたちに～